

経済産業副大臣 / 衆議院議員

# 大串まさき

<https://m-ogushi.com>

国会活動のご報告

- ✔ 令和6年度補正予算が成立
- ✔ 経済産業副大臣としての活動
- ✔ 日アフリカ官民経済フォーラムに出席

ガブリック VOL. 44



## 大串まさき プロフィール

元 デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣  
元 経済産業大臣政務官 元 自民党副幹事長

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。IHI、松下政経塾を経てJAISTにて博士(知識科学)を取得。大学准教授の後に現職(5期)。
- ▶ 社会保障・産業政策・デジタル改革等の分野に注力。
- ▶ 家族は妻と2人暮らし+保護猫1匹(三毛猫)。趣味は釣り・絵画・多肉植物など。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物はカレーとラーメン。座右の銘は「威ありて猛からず」。

## お問い合わせ先

自民党の党員になって応援して頂ける方、ボランティアとしてお手伝い頂ける方、国政報告会への参加を希望される方など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6  
-0851 グランドハイツコーワ 2-12  
TEL:072-773-7601  
FAX:072-773-7602

✉ [info@m-ogushi.com](mailto:info@m-ogushi.com)



## 動画を配信中!

政策の解説からプライベートまで気軽に見られる動画を「X」「Instagram」「YouTube」で配信しています。右のQRコードからフォローしてください。



## 令和6年度補正予算が成立

先の臨時国会にて令和6年度補正予算が成立しました。総合経済対策の財政的な裏付けとなる予算です。一般会計の歳出総額は13.9兆円で、①日本経済・地方経済の成長(5.7兆円)、②物価高の克服(3.4兆円)、③国民の安心・安全の確保(4.8兆円)の3本の柱からなります。



### 国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策

#### ①日本経済・地方経済の成長

全ての世代の現在・将来の賃金・所得を増やす

- ・賃上げ環境の整備
- ・中堅・中小企業の生産性向上
- ・地方創生2.0
- ・成長力の強化

#### ②物価高の克服

誰一人取り残されない成長型経済への移行に道筋をつける

- ・物価高の影響を受ける低所得者への支援
- ・地域の実情等に応じた物価高対策の推進
- ・物価高の影響を受ける業種の支援
- ・エネルギーコスト上昇への耐性強化

#### ③国民の安心・安全の確保

成長型経済への移行の礎を築く

- ・自然災害からの復旧・復興/防災・減災
- ・外交・安全保障環境の変化への対応
- ・都市部等の防犯対策・闇バイト対策
- ・こども・子育て支援、女性・高齢者の活躍・参画推進など

先の衆議院総選挙でも争点となった賃上げについて、その環境を整えるための中小企業の設備投資等の支援に3,400億円を計上。さらには石破政権の掲げる地方創生の新たな政策として、地方の産業の高付加価値化等に充てる、新しい地方経済・生活環境創生交付金に1,000億円を計上しています。また暮らしを守る政策として、低所得世帯向け給付金に4,908億円、冬期の電気・ガス料金負担軽減に3,194億円、燃料油価格激変緩和措置として1兆324億円を盛り込みました。

なお、今国会からは少数与党となり、他党との協議を重ねての成立となりました。衆議院では能登半島地震被災地の復旧・復興の加速化を求める立憲民主党の主張を取り入れるなどして補正予算を修正の上、参議院では国民民主党と日本維新の会の賛成も得て成立となりました。引き続き令和7年度の本予算においても、実効性のある政策が実現できるように、熟議の上、取り組んで参ります。

## 地元のみなさまへ

令和6年を振り返ると、元旦の能登半島地震に始まり、自民党の総裁選挙や衆議院総選挙、兵庫県知事選挙を経て、経済産業副大臣への就任と、変化も多い慌ただしい一年でした。仕事としては国全体に関わる政策の比重が大きくなり、その責任も重たくなってきています。とはいえ、地元の声もしっかりと伺いながら活動を続けていきたいという思いは変わっていません。これからも地域を回って、地元の課題解決にも注力して参ります。令和7年も、よろしくお願い申し上げます。



## 経済産業副大臣としての活動

連日、経済産業副大臣として活動しています。経済産業省では大臣1名、副大臣2名、政務官2名で役割を分担しつつ連携しながら、さまざまな政策課題に対応しています。法案審議が始まると国会での答弁の機会も増えてきますが、国内外の対外的な仕事にも対応しています。

### 中小企業・スタートアップ支援

総合経済対策でも触れられている「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとするためにも、中小企業やスタートアップを政策的に支援していくことは極めて重要です。ものづくり補助金の成果をマッチングさせるイベント「中小企業 新ものづくり・新サービス展」なども開催しています。

### 経済安全保障を強化

近年の経済産業・通商政策においては経済安全保障の概念が不可欠になっています。これは、国民の生存に必要な不可欠な物資を特定重要物資※として指定し、その安定供給確保に取り組む民間事業者等を支援することを通じて、特定重要物資のサプライチェーンの強靱化を図る政策的な取り組みです。半導体はその最たる物資で、政府としても2030年までにAI・半導体分野に10兆円以上の公的支援を実施するフレームを策定することを経済対策に盛り込んでいます。これらの政策について、先日開催された半導体産業の国際展示会であるセミコン・ジャパン2024にて、お話をさせていただきました。

※特定重要物資：政令で指定される以下の12品目。抗菌性物質製剤、肥料、永久磁石、工作機械・産業用ロボット、航空機の部品、半導体、蓄電池、クラウドプログラム、天然ガス、重要鉱物、船舶の部品、先端電子部品。

### 激甚災害の基準を緩和

災害復旧に際して、中小企業への手厚い支援は地域経済の再生という意味からも重要な経済産業省の政策になります。この補正予算から局地激甚災害（いわゆる局激）に関する自治体連携型補助金について、補助対象を拡大（中小企業の対象化、施設建替の対象化）するとともに、補助上限を5億円まで引き上げました。これにより、さらに使い勝手の良い政策になりました。このタイミングで令和6年7月の水害対策の状況説明に来訪された山形県の吉村知事の要請にも応えることができました。



5名の政務三役で打合せ



中小企業のアイデアが  
生かされるイベントを開催



半導体政策について講演



ラピダス社から2nm次世代  
半導体技術の説明を受けました



山形県の吉村知事から  
要請を受けました

## 日アフリカ官民経済フォーラムに出席

12月16,17日にコートジボワール共和国・アビジャンで開催された第3回日アフリカ官民経済フォーラムに主催者代表（コートジボワール政府共催）として出席しました。今後、ますます関係構築が重要となるアフリカを支援するTICAD※も支援から投資へと変遷を遂げる中で、貿易・投資、インフラ、エネルギー等の分野で、日本とアフリカの民間企業の協力と日本企業のビジネス活動の促進を目的に、官民ハイレベルの参加の下、意見交換をおこなうために創設されたのが日アフリカ官民経済フォーラムです。今回の第3回会合は、日本との共創を念頭にアフリカの経済多角化・産業高度化の将来像を提示し、アフリカの社会課題解決と脱炭素社会を踏まえた持続可能な成長の両立の実現を狙って開催されました。



1,200名が集まる西アフリカで  
最大のフォーラムとなりました



主催者代表として三つの協力策  
を発表しました



コートジボワール政府から  
マンベ首相が参加

私からは以下の三つの協力策、①日本企業とアフリカで活躍するスタートアップの連携強化の枠組み構築、②インド・中東・欧州など第三国企業との連携強化への支援、③GX等のプロジェクトに対するファイナンス面での支援強化を発表しました。日本企業等約100社が、またアフリカ諸国からは約20名の閣僚級を含む40カ国からの参加を得て、総勢1,200人規模の政府・企業関係者が参加し、今回のフォーラムを契機として計44本の協力覚書等が締結されました。

※TICAD（Tokyo International Conference on African Development）：アフリカの開発をテーマとする国際会議。1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催。冷戦終結後、アフリカ支援に対する先進国の関心が低下する中、アフリカの重要性を論じたのが日本であり、その実行の証がTICADでした。現在でこそ、アフリカと米国や中国等各国との間で様々なフォーラムが存在しますが、アフリカ開発に関するフォーラムとして日本が立ち上げたTICADは先駆的存在であると言えます。

### 編集後記

現在、経済産業副大臣とともに原子力災害現地対策本部長も兼任しております。福島第一原発の廃炉作業を着実に進めつつ、帰還困難区域を抱える自治体などに寄り添って復興の支援を続けるため、福島の被災地を訪れる機会が

多くなっています。地元に戻れない日が増えていますが、子どもたちや未来の日本のために、国が責任を持って、やり遂げなければならない仕事と考えますので、今、自分にできることを、そしてやり遂げたいと考えることを、精一杯やってみようと思っています。